



にゅるる〜ん!
エッチな触手で陵辱にゃ!

18
R
成年指定

～プロローグ～

新たに現れたネガトーン。
メロディとリズムは暗い倉庫の中、ネガトーンの触手に捕らえられていた。

キュアメロディ「くっ！ 放せ！」
キュアリズム「やだっ！ 何これ?! ぬるぬるしてる!」

キュアメロディ「リ：リズム！ 服が解けてる!？」
キュアリズム「きゃっ！ メロディ！ あなたの服も!」

セイレーン

「くっっ！ 良い格好だなプリキュア」
「その触手の粘液は、プリキュアの力を中和する成分があつてな…」
「それが付着している限り力も使えないし、
その力で形成されている服も溶けるのさ」

メロディリズム「そ…そんな…」

セイレーン

「まあ、こちらとしては、音符も手に入った事だし
このまま放してやっても良いが…」
「条件がある」

キュアメロディ「な！ 何よ?!」

セイレーン

「今後私達の邪魔をしないと約束しろ」
「そうすれば二人とも放してやってもいいぞ」

キュアメロディ「ば：馬鹿にしないで！ 私達はプリキュアよ！」
キュアリズム「そうよ！ アナタ達の勝手になんかさせないわ!」

セイレーン

「ふーん…」
「じゃあ…二度と邪魔出来ないように
身体に教えてあげなきゃね♪」

キュアメロディ

「やれるものならやってみなさいよ！」
「そんな脅し恐くなんてないんだから!」
「このばーか！ デコっばちい!」

セイレーン

「デコっ?!」
「くっ…」
「ネガトーンっ!」
「この小娘から先にやっておしまい!」

ネガトーン

「むおおおおおおおん!」
雄叫びを上げると、ネガトーンの身体から
ヘッドホン型の触手が飛び出しメロディの両耳を塞いだ。

キュアメロディ「な！ 何よこれ?! 気持ち悪い!」

メロディは、頭をブンブンと振りヘッドホンを外そうとするが
触手で縛られているため、思うように身体が動かない。

セイレーン「さあ！ 快樂の海で溺れなさい!」

セイレーンの合図と共に、ヘッドホンから妖艶な音楽が響きはじめた。

キュアメロディ「な…何よこの下品な音楽…」

「これが攻撃なの？ 笑っちゃうわ!」

セイレーン「くっっ…」

「大きな口を叩けるのも今のうちだけさ」

キュアメロディ「え?」

そう呟いた瞬間、響は自分の身体が火照っている事に気が付いた。

キュアメロディ「や…やだ…な…なによこれ…」

セイレーン

「その音楽は人の性欲を掻き立てる音楽なのさ」
「曲が終わる頃には、理性もない淫乱プリキュアの出来上がり…つてわけ」

キュアメロディ「だ…誰がこんな曲なんか…
負ける…もんですか…」

キュアリズム「メロディ!」

セイレーン「ふふ…曲を聞き終わって、同じ事が言えるかしら」

キュアリズム「や…止めて!
メロディを放して!」

セイレーン

「慌てなくても、お前も気持ち良くしてやるよ」
「それまでお友達の観察でもしてなさい」

キュアリズム「くっ…」

二人が話していると、メロディの身体が痙攣し始めた。

セイレーン

「おっと…曲が終わったみたいね」
「ネガトーン! ヘッドホンを外しなさい」

ネガトーン

「おおおん」
キュアメロディの頭からヘッドホンが外された。

キュアメロディ「はあ…はあ…はあ…」

「メロディ! 大丈夫?!」

呼びながらリズムは、メロディの顔が高揚している事に気付いた――

キュアリズム「メロ…ディ…?」







や...
やだ...

さて...
アンタは
どうして欲しい?

きゃっ!
フチユ...



じゃあ
アンタは
意識はそのまま
身体だけいやらしく
してあげる

ちっ
違っ...

友達が
犯されてるのを見て
興奮したの?

嫌がってる割には
ヌルヌルに
なってるじゃない

いやらしい子...



止めて...
放してっ...

いっ...
いやっ...

フフ...
ネガトーン...

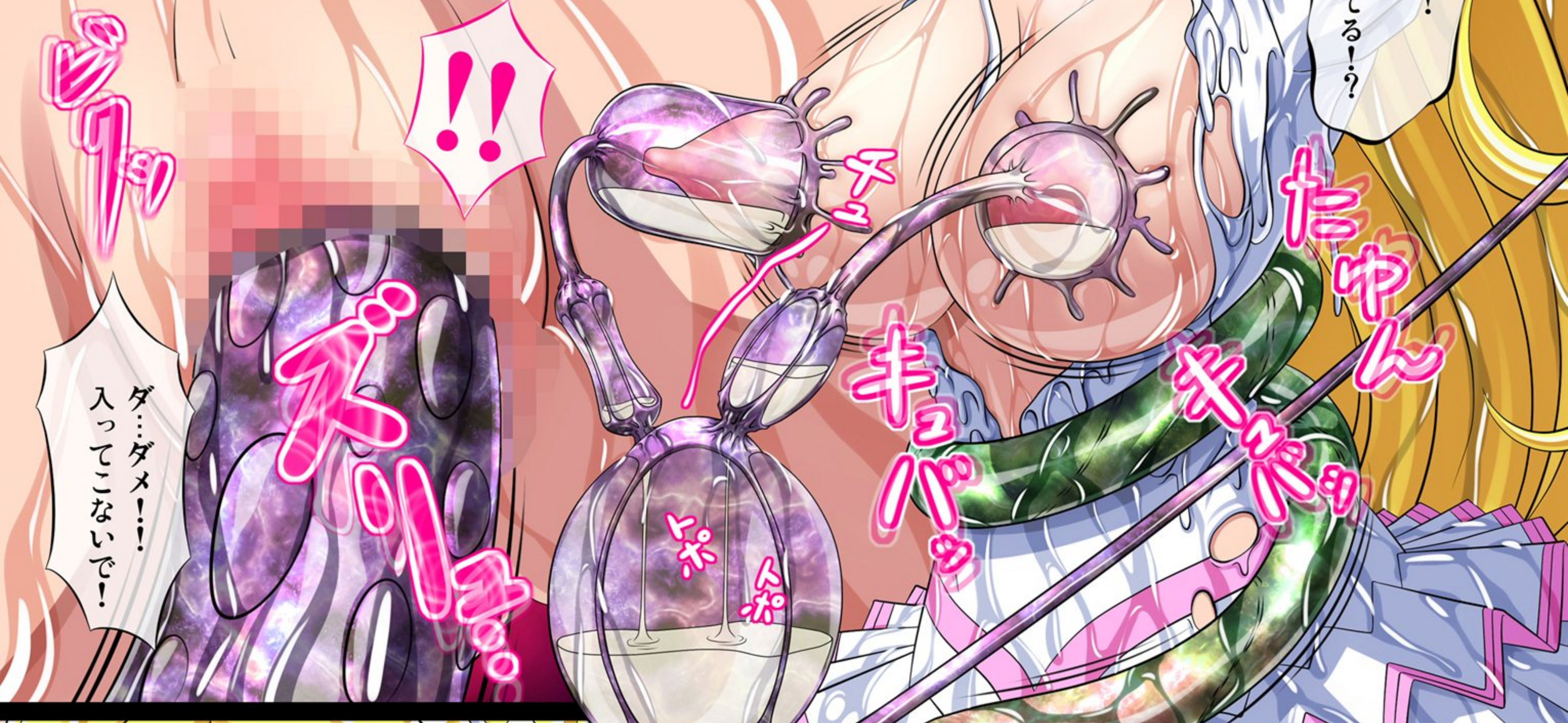


ふええ…
ミルクまで
出ちゃってるよう…

?!

キーン

や…やだ?!
オッパイが
大きくなってる!?



!!

ダメ!
入ってこないで!

た
ゆん

キーン

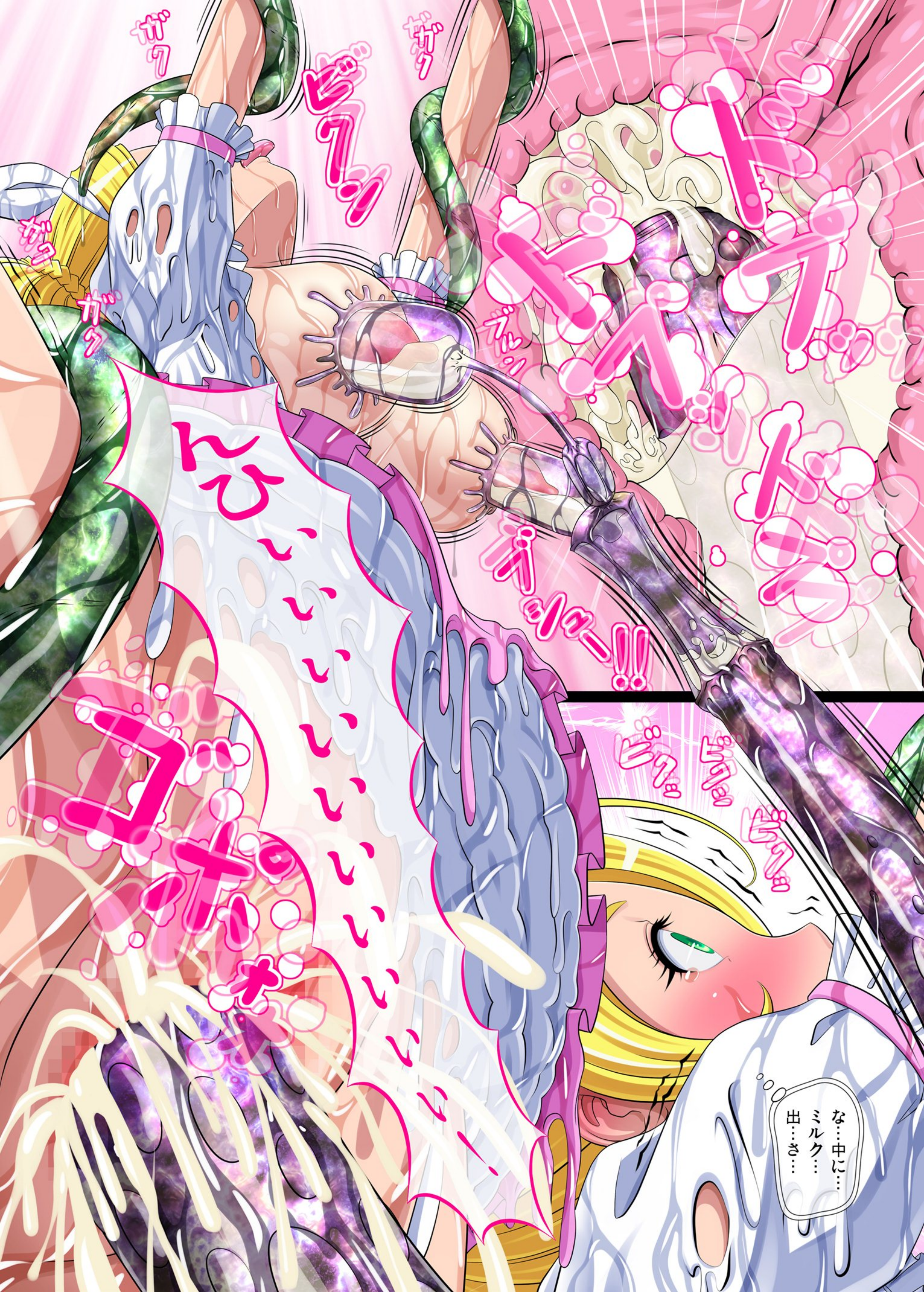
キーン



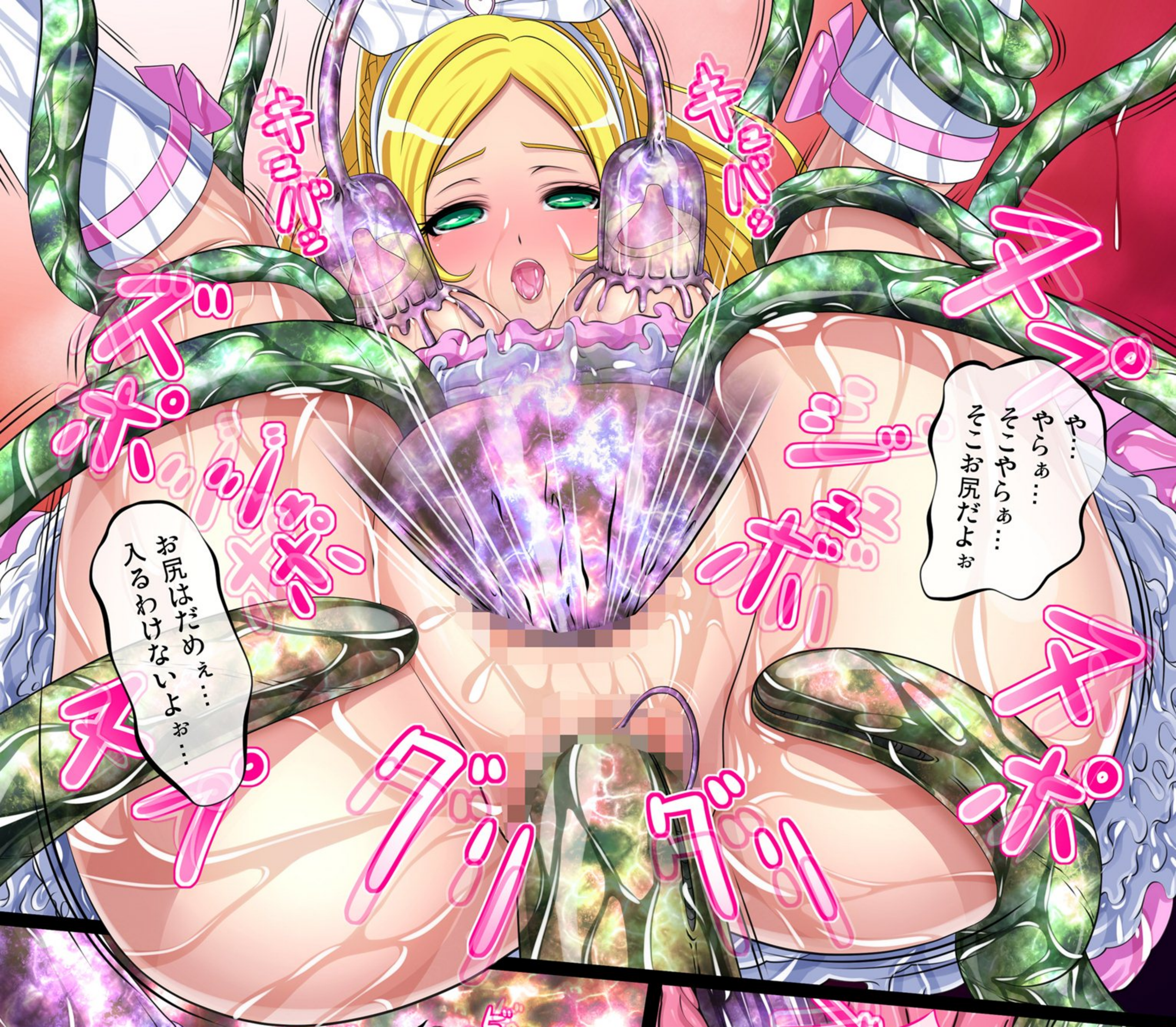
なんで?!
なんで初めてなのに
痛くないの?

ドドド

ドドド

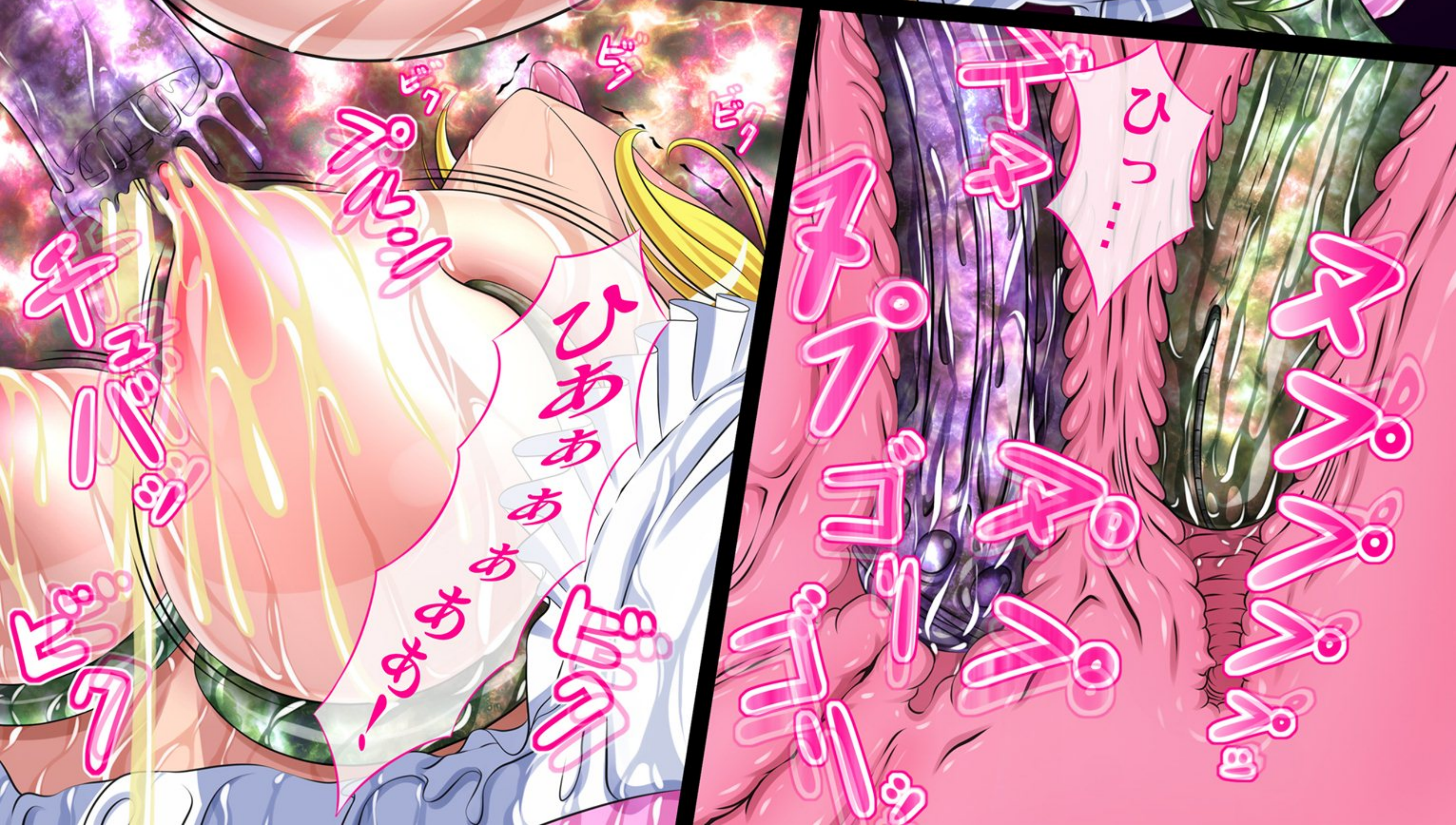


な…中に…
ミルク…
出…さ…



や...
やらあ...
そこやらあ...
そこお尻だよお

お尻はだめえ...
入るわけないよお...



びああ
あ
あ
あ
あ

ひっ
ひっ
...



おっ...
おっ...
おっ...!!

はじゅかひの...
はじゅかひの...
はじゅかひの...



トっちやん...!

や...や...
や...や...
や...や...!!?

トっちやん...!



やらあああ
はげひい...!

しゅ...
しゅ...
しゅ...



ひあ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ



あへ…♡
あ…
が

も…♡
もっ…ろお…♡
が

END



ATOOGAKI

初めまして！またはお久しぶりです！
灰雷兎と申します。

今回はプリキュアを
触手でモニョモニョしてみました
如何だったでしょうか？

しかしアレです。

プリキュア観てると、
どうもキュゥべえが脳裏を過ぎってしまいます。

未恐ろしい……

それでは、
ここまで目を通して頂いて
ありがとうございました。
またお会い出来ることを
願いつつ(・ω・)♪

灰雷兎



発行日 2011年08月

発売元 きゃろっとワークス

発行者 灰雷兎

HP: <http://johnny-do.com/raito/>

Mail: carrot@johnny-do.com

※本作品の無断複製・無断転載・Webへのアップロード禁止

※18才未満の購入・購読を禁止します



♡ にゅるる〜ん! ♡
エツ干な触手で陵辱にゃ!

きゃらんど♡マークス/灰雷鬼
.....2011/08.....